

第2回 高千穂中学校移転新築検討委員会会議録 (要旨)

日時：令和5年10月23日(月) 午後3時00分 開会

場所：高千穂町役場 4階 大会議室

委員：出席者14名(うち代理1名)、欠席者1名

出席者	富高康雄委員、甲斐勝朗委員、佐藤さつき委員、板倉哲男委員、佐藤幸男委員、金丸智弘委員、榎本英雄委員、甲斐烈委員、富高徹雄委員、安在優委員、佐藤公彦委員、安在直委員、佐藤有美委員
代理出席者	甲斐理恵氏(甲斐英生委員の代理)
欠席者	喜田鉞子委員

事務局：出席者6名 オブザーバー：出席者4名

事務局	教育委員会：戸敷教育長、林次長、佐藤課長補佐、山口学校教育係長、田尻学校教育係主任主事、建設課：黒木稜平(建築住宅係)技師
オブザーバー	有藤総務課長、興梠財政課長、甲斐建設課長、佐藤農林振興課長

1. 開会 【進行：佐藤課長補佐(委員長挨拶、教育長挨拶まで)】

2. 委員長あいさつ

・事務局の当初計画では、第2回を11月下旬としていたが、候補地について、もう少し比較しやすい資料の提示と公表可能な位置図の提供をという、第1回の委員の皆様からの意見があり、第2回を本日開かせて頂いた。本日は、ある程度の数字を入れた資料をお示しできたので、ご意見等頂き、協議をお願いしたい。

3. 教育長あいさつ

・前回は、現地視察を行い、夕方までの参加、感謝する。前回の意見を受け、オブザーバーからのアドバイスを頂きながら、新しく資料を作り直し、本日提供させて頂く。現時点での最善な方法を選ぶ委員会と思っている。本日も色々な意見を頂き、進めて参りたい。協議をよろしく願います。

4. 協議事項 【進行：富高委員長】

(1) 高千穂中学校移転先候補地比較表について〔資料1〕【説明：林次長】

- ・資料1に沿って説明。
- ・第1回資料で不足していた、建設を始めるまでの土地の造成費用と要する期間を追加し、候補地5つが比較できるように作成した。
- ・候補地に民有地があるため、公表に配慮し、委員の方々の各団体への説明用として候補地位置図を新たに作成した。

【会議発言内容】

発言者	内容
板倉委員	・コスト面の金額は全額が町負担か。国・県補助を差し引いた金額か。
事務局 次長	・提示したコスト面の金額は、買収費用や造成費用のため補助はないと考えている。
佐藤さつき委員	・生徒の移動にともなう費用、ランニングコストの試算はあるのか。
事務局 学校教育係長	・試算はまだしていない。 ・田原中学校の場合は、通学用貸し切りバスを1日3便運行。利用は現在23名。運行委託料予算は年間950万円。同様の移動方法の場合、費用は3倍近くになるのではないかと思う。 ・移動方法を含めて、これから協議していく。
甲斐勝朗委員	・高千穂温泉跡地の場合、温泉館解体とあるが、当時の目的とは異なることになるが、目的外使用で補助金等返還の義務は発生しないのか。
オブザーバー 総務課長	・正確な数字は把握できていないが、建築時に国補助等の活用はあまりなかった。また、建築後、20年以上経過し、返還が生じても大きな金額ではないと思う。
安在直委員	・総合公園は、面積がやや手狭であることから、民有地まで広げてという案の説明があった。候補地に決定すれば、民有地を含めて検討するということか。
事務局 次長	・民有地を含めて検討したいと考えるが、土地の形状上、埋立地となるため、校舎の建設が可能かどうかの検討も必要である。

(2) 移転先候補地評価シートについて〔資料2〕【説明：林次長】

- ・資料2に沿って説明。
- ・評価シートでは、まず、候補地について総合評価から1～5位までの順位付けをお願いする。
- ・評価項目は、大きく4つ、立地環境、コスト面、通学環境、その他とし、その4つをさらに分類し、全部で10項目設けた。1項目ごとに、◎・○・△を一つずつ記入いただき、意見があれば、意見欄に記入をお願いする。
- ・事務局としては、候補地にふさわしい順位付けを重要視して選定する考え。
- ・シートの提出は、教育委員会へ11月17日（木）までをお願いする。
- ・シート結果を取りまとめ、第3回検討委員会に提示するので、第3回検討委員会で候補地の選定をお願いする。

【会議発言内容】

発言者	内容
富高委員長	・◎・○・△の3つの評価とは。
事務局 次長	・10ある評価項目の1項目ごとに、◎・○・△（点数制）の3つの評価を記入頂く。1つの項目に必ず◎・○・△の3つの評価が入る。
甲斐勝朗委員	・コスト面は、概算費用と造成期間があるが、総合的に評価するのではなく、各項目での判断で良いのか。
事務局 次長	・設けてある各項目で評価をお願いします。
富高徹雄委員	・評価シートでは、まず、候補地5つを1～5位まで順位をつけるが、10項目を◎・○・△（点数制）で評価していった場合、順位と評価点数に相違があっても良いのか。
事務局 次長	・候補地選定は、評価順位を重要視したい。順位が同じ候補地があれば、10項目の評価点数や意見を加味して、選定して頂く。
安在直委員	・評価判断の基準だが、例えば、敷地面積が広い場所が◎ということか。
事務局 次長	・敷地面積だけではなく、形状や周辺環境なども踏まえて考えて頂きたい。
富高委員長	・候補地順位が1位だからといって、◎が多いということに必ずしもならない。
甲斐烈委員	・現在の高千穂中学校の面積は。
事務局 次長	・総面積は、約34,000㎡。校舎が幾つか分かれていることもあるが、運動用地（プール含む）が12,000㎡、その他（法面等）5,000㎡。
甲斐烈委員	・高千穂小隣接地の造成期間6年は、遺跡が見つかった場合の期間か。
富高委員長	・見つかった場合の期間。見つかることは間違いない。
富高委員長	・折原グラウンドは、埋立地のため地盤調査が必要だが、建物を建設するとなれば基礎調査や基礎工事がかなり重要ではないか。それに伴い経費もかかるのではないか。
事務局 次長	・地盤の状態によってはそうなる。提示した経費とは別途基礎杭の費用がかかる。安全な地盤に校舎を建設するためには必要な経費ではある。
オブザーバー	・地盤調査は必要。折原グラウンドのどこに建設するかで埋め立ての深さ

総務課長	<p>が変わってくる。当時、埋め立する前の土地から岩盤までの深さが全く分かっていなかったため、今回、ボーリング調査で確認する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボーリングの深さによって、工事費は高くなるし、工法も変わる。例えば、15～20mであれば、基礎が接する部分前面に杭を打つが、深くなると工事費があまりにも高くなるため、大きな杭を打ち建物の基礎を強化する。一概には言えないが、経費は10～20mで1億円程度。30mならば2億は超える事業費規模になる。
佐藤幸男委員	<ul style="list-style-type: none"> ・折原グラウンド奥は、五ヶ瀬川があるが、河川法の制限はないのか。
事務局 次長	<ul style="list-style-type: none"> ・五ヶ瀬川の影響はない。
佐藤さつき委員	<ul style="list-style-type: none"> ・折原グラウンドは、目的外使用となり補助金返還があるという話ではなかったか。
オブザーバー 建設課長	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興サッカーくじの助成を受けて建設した。目的は運動施設であり、それ以外の使用は、補助金の返還が発生する可能性があるという説明をした。

5. 高千穂中学校移転新築検討委員会スケジュール案について〔資料3〕【説明：林次長】

- ・資料3に沿って説明。
- ・第3回を11月下旬（候補地選定）、第4回第5回目を来年1月と3月（基本計画案検討）に開催予定。

【会議発言内容】

発言者	内容
板倉委員	<ul style="list-style-type: none"> ・移転先候補地選定は非常に大きなポイント。選定後に保護者や町民向け説明会を開催するのか。 ・検討委員会としての結論を説明する会があっても良いのでは。過去に開かれた公衆浴場の検討委員会では、検討委員会の結果を町民向けに説明会が開催された。
事務局 次長	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ、説明会開催の予定はない。検討委員会の進捗等は町広報紙やホームページでお知らせしていく。検討委員会では候補地を選定し、町長に報告するが、決定するのは、町長部局。検討委員会が説明会を開くと、選定地が移転先に決定したと受け取られる恐れがある。
事務局 教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・町民への説明会について、他の委員の方の意見を伺いたい。
佐藤さつき委員	<ul style="list-style-type: none"> ・仮に説明会を開催して、その場で出た意見の取り扱いはどうなるのか。 ・過去の公衆浴場の検討委員会でも決定事項が説明された。反対意見がた

事務局 教育長	<p>くさん出たが、意見は反映されることはなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の移転新築検討委員会でも各団体の代表として集まり、協議を重ねた結論を、各団体に持ち帰り説明をすると思うが。 ・他の自治体では、町長選挙で中学校移転が話題となり、当初示された案に反対した方が当選された。その自治体では、町民アンケートが実施されたが、高千穂町でもその必要があるのか、意見を伺いたい。 ・2年半前の着任時、最優先事項の一つが高千穂中学校の建て替えであった。既に2年遅れていると思っている。1日でも早く進めたい。そのために、検討委員会を設置し進めている。このことも含めて意見を伺いたい。
富高委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・この検討委員会は、町長からの諮問を受けて、町長に答申する委員会である。委員会で選定した候補地は、重要な施策として町長も捉えられると思う。委員会としては、答申し、答申を受けて町長が判断する、と思うが。委員の方々はどうか。
安在直委員	<ul style="list-style-type: none"> ・上野中学校 PTA では、高千穂中学校の場所が危険なため、早く移転してほしいと考えている。早く移転することを優先に考えて頂けないか。
甲斐勝朗委員	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会の内容を三田井地区館長会で報告し、また、意見を吸い上げて検討委員会に出席している。この委員会の役割は、町長に答申するまでと思っている。検討委員会の結果から、町長が決定したことに対しては町長から説明があるということではないか。
富高委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に全地区公民館長会が計画されている。その場で町長から報告説明があると思う。
オブザーバー 総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・町長が説明会を開くというよりは、広報紙で広く広報する方向性ではないか。委員の方々から町長説明会開催について意見があれば伺いたい。 ・委員会設置にあたり、各団体の代表で組織したのは、一定の意見が集約できるという判断があった。
富高委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会としては、開催ごとに委員からの意見をまとめ、事務局から町長に報告をしていくが、最終的には、候補地を選定し、町長へ答申することが役目であると考えている。今回の委員からの意見も貴重な意見として賜っておく。

6. 閉会

・午後4時05分 閉会